

土地区画整理事業により、都市防災機能を向上する (鹿児島県鹿児島市)

事業者：鹿児島市



密集解消と併せた高上げ工事

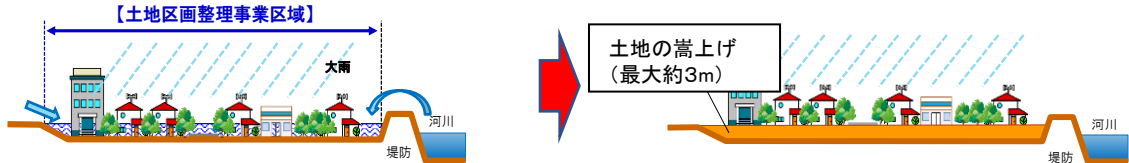
令和5年撮影



整備前の道路（幅約3m）



整備後の道路（幅約6m）



対策名：10 災害に強い市街地形成に関する対策

主たる施策グループ： 1-4) 突発的又は広域的な洪水・高潮に伴う長期的な市街地等の浸水による多数の死傷者の発生（ため池の損壊によるものや、防災インフラの損壊・機能不全等による洪水・高潮等に対する脆弱な防災能力の長期化に伴うものを含む）



事業名：谷山第三地区土地区画整理事業

- ポイント**
- 緊急車両の進入が困難な狭あい道路を改良して、安全な市街地を形成
 - 宅地の嵩上げにより、永田川の氾濫等による浸水被害を軽減

地域の概要・課題

本地区は、鹿児島市の南部に位置し、地区の北東側を永田川が隣接しています。

地区内は基盤整備が進まないまま建物が密集し住宅地が形成された既成市街地で、近年では建物の老朽化も進んできており、防災上危険な状況となっていました。

加えて、地区内は永田川の堤防との高低差があり、水災害に対する安全性の向上が必要となっていました。

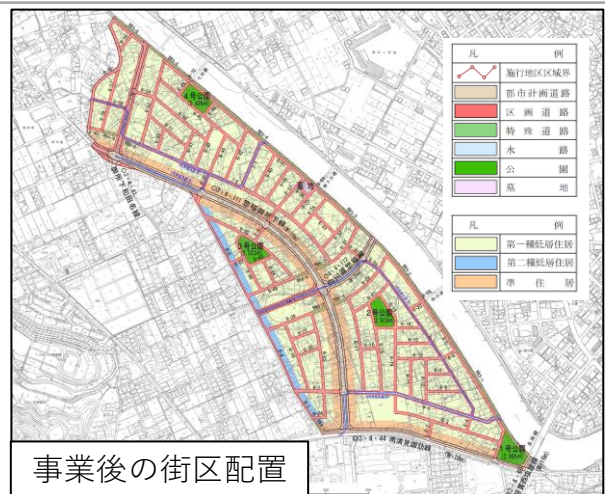
事業の概要

事業区域34.9haのうち、0.5haにおいて、老朽建物の建替を推進する街区の再編により密集市街地の解消が完了しました。

また、宅地の嵩上げについては、31.8haのうち、10haにおいて移転が完了し、1.2haの嵩上げ工事が完了しました。

見込まれる効果

街区の再編、道路の幅員が4mに満たない狭あい道路や密集住宅の解消に併せて、宅地の嵩上げを行うことで、緊急車両が円滑に進入できる安全な市街地を形成するとともに、永田川の堤防決壊による浸水の防止や永田川の氾濫等による浸水深さの軽減が見込まれます。



事業後の街区配置

(1) 1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策
人命・財産の被害を防止するための対策

(2) 2 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

(1) 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進
デジタル化に関する施策の

(2) 伝達の高速度化
災害関連情報の予測、収集・集積